



深刻な人手不足に 外国人材で確保 技能実習制度廃止、新制度へ



政府の有識者会議は4月に中間報告書を公表し、現行の技能実習制度を廃止して新たな制度を創設する方向で検討すべきとしています。外国人材の受入の大きな転換を2024年から行う見通しとなり、介護分野の技能実習生を受入れる事業所は大きな影響を受け、制度変更への対応も迫られます。新制度では特定技能への移行を前提に、多数職種の現状から特定技能の分野と一致するよう絞り込まれまた、悪質な受け入れ団体を排除することなど、独立性・中立性の確保や監理・保護・支援に関する要件等が厳しくなる見込みです。

技能実習制度 廃止 → 人材確保と人材育成を目的とする新制度 創設

技能実習制度		新制度
人材育成を通じた国際貢献	目的	人材確保と人材育成
原則不可	転籍	一定の制限内で可能に
定めなし	日本語能力	就労開始前に一定の条件検討
87職種に細分化	職種	現在12分野の特定技能と一致
監督不十分な事例が社会問題化	監督体制	不適切な管理団体を排除
受入見込数設定等のプロセスが不透明	受入プロセス	受入見込数設定等のプロセスの透明化

● 技能実習制度とは

外国人労働者を受け入れる制度。技能実習の在留資格で研修を受け外国人が報酬をともなう実習を行うもので1993年から導入され30年たちました。この基本理念は

- ① 技能習得・人材育成・国際貢献を優先する。
- ② 労働力需給調整の手段にしない。

● これまでの制度の問題点

- 本来の目的である国際貢献でなく、実態は低賃金の労働力確保。技能習得ではなく、出稼ぎがほとんど。
- 長時間労働、低賃金、賃金未払い、暴力、労働基準法違反、人権侵害も多い。
- 関連団体の違法マージンや手続きのための多額の借金返済のため、失踪や不法就労も多い。
- 国際的に人身売買・奴隷制度と指摘されることもある。

● 介護人材不足は深刻に

2035年には要介護認定者は960万人に達し介護人材の不足はこのままだと79万人となり介護難民が出ることも予測されています。介護予防、高齢者、ボランティア、ICT・AI・ロボット等の活用だけでは足りません。日本で外国人が安心して働けるよう、人権を尊重し待遇や環境などを用意することが求められます。

● 新しい制度の方向性は

2019年にスタートした特定技能制度（国内人材を確保することが困難な状況にある産業分野で外国人労働者を受け入れ）と連動させ、外国人労働者が特定技能に移行させやすくして長期間の労働できるようにすることを目指しています。（従来の制度では最長5年までとされていました）








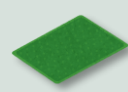








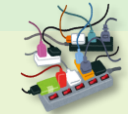


転倒予防の ぬ・か・づけ



ケア・ライフ・デザイン
き ら みさお
代表 吉 良 操

「転倒予防のぬかづけ」は日本転倒予防学会が提唱している言葉です。転倒の危険のある環境を分かりやすく説明しています。転倒すると頭を打ったり大腿骨、腰椎を骨折することが原因となり要介護状態、寝たきり、認知症になる可能性が高くなります。

転倒原因は「濡れているところ」「階段」「片づけていないところ」などの日常生活のあらゆるところに潜んでいます。高齢者の転倒事故の6割は自宅で起きており、住まいの環境を整え危険リスクを減らし、転倒しても大ケガにならない工夫が大切です。

危険・リスク	対策・環境整備
<p>ぬ 濡れ (浴室・洗面所・台所)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 手すりをつける。 ● 床が濡れていたら拭く。 ● すのこやスロープで段差を小さくする。 ● 滑りにくい床材にするか、すべり止めマットを敷く。 ● イスに座って着替える。    <p style="writing-mode: vertical-rl; border: 1px solid black; padding: 2px;">水ぬれ注意</p>
<p>か 階段 (段差・段差・玄関)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 手すりをつける。 ● 階段にすべり止めをつける。 ● 玄関マットの下にすべり止めをつける。 ● 足元がよく見えるよう照明を明るくする。 ● すのこやスロープで段差を小さくする。 ● 滑りやすい靴下、スリッパ使わない。 ● 靴の着脱のためにイスを置く。    
<p>づ 片づけ (居間・廊下)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 床に不要なものを置かない。 ● コードを歩く動線を避ける。壁にはわす。部屋の奥にまとめる。 ● 引っかかりやすいカーペットやこたつ布団使わない。 ● カーペットのふちに目立つ色のテープをはる。滑り止めを敷く。     



■ 政府広報オンライン 「たった一度の転倒で寝たきりになることも。転倒事故の起こりやすい箇所は？」
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202106/2.html>



2023年度「運営指導」対策

アフターコロナの 「運営指導」はこう変わる!!

何が
変わったのか!?



2023年6月23日(金) 15:00 ~ 16:30

無料 GREEN CARE FORUM Online

私たちグリーンケア福祉用品研究会は、高齢者・高齢者の生活をサポートする。



きぬせん福祉用具研究会

千葉県船橋市海神四丁目9-18

連絡先 : 047-433-1012 FAX : 047-433-1034

mail : info@kinusen.net URL : <https://kinusen.net>

